

成果報告書

実施市区町村名	熊本県天草市				
代表市区町村長名	天草市長 安田公寛				
事業名称	地域活性化課題解決モデル「Webの駅」天草情報タワー				
契約額	54,000,000円				
事業実施概要	<p>(1) 解決課題 天草市は、平成18年3月27日の10市町の合併以後、各地域課題を天草市単一の課題として解決する必要が生じている。具体的には、人口減少や生活圏拡大に伴う地元商店街での消費低下、豊かな自然やキリシタンの歴史がある一方で観光客数の伸び悩み、地域コミュニティ活動における温度差、市街地と山間部との間の情報格差の拡大などの課題がある。</p> <p>(2) 実施内容 平成19年度においては、地域の団体や有識者及び利用者などで構成する「天草市地域ICT利活用推進協議会」が主体となり、地域における情報交流の促進や観光客などへの情報提供を目的とした「Webの駅構築システム」・「観光ガイドシステム（一部機能）」、人的つながりの再構築とICTの融合を目指す「商店街活性化システム（一部機能）」の各システムを構築・運用し、観光客の増加や地域経済の復興等を促し、地域コミュニティの活性化を図る。</p> <p>(3) 実施体制 構築するシステムに地域住民や関係利用団体等の意向を反映し、継続的な運営方策等の検討を行うため、地域団体、有識者等で構成する「天草市地域ICT利活用推進協議会」を設置するとともに、本年度事業の庁内関係部署と定期的に連絡調整を図る。</p>				
目標の達成状況	指 標	目標値	結果の数値	達成状況	計測方法・出典等
	会員登録数	10,000人	400人	△	データベースに登録された会員数
	システムへの期待度	50%	50%	○	ポータルサイトに連動したアンケート調査

	達成できなかった理由（△又は×の場合）
	<p>当初の計画より、天草市地域 I C T 利活用推進協議会での仕様の決定協議に時間がかかったため、システムの開発スケジュールに遅れが生じ、結果会員の募集期間が短くなり会員数が伸びなかった。また、システムの開発が遅れたことをうけ、広報活動等の展開ができなかったことも会員数が伸びなかった原因だと思われる。</p>

注) 成果の達成状況欄には○(達成)、△(一部達成)、×(全く達成されていない)を記入すること。

注) 合計3枚まで。

<委託業務説明書>

1 平成19年度事業実施において明らかとなった課題

※他自治体の参考となるような論点・課題（解決できた場合はその解決方策）。

・天草の団体の中には、天草市という自治体の単位ではなく、上天草市や苓北町まで含めた「天草」として活動を行っている団体がいくつかあり、今回の地域ICT利活用モデル構築事業の申請範囲である、天草市を超えての使用を検討する必要がある。

・システムの仕様や概念について噛み砕いて協議会へ説明しているが、やはり実際に物が見えてこないとわかりづらく協議が活発化しない。

・今年度は分科会や作業部会を設置せず、天草市地域ICT利活用推進協議会1つで検討を行ったため、詳細な内容の検討ではなく、おおまかな方針決定機関としてしか協議会が機能しなかった。来年度の実施に当たっては、協議会の下に作業部会などを設置することで詳細な検討を行い、協議会で決定するという進め方をしたい。

・自立的・継続的運営を行うために、利用者から利用料を徴収することを検討しているが、今回構築するサービス系システムとは別に料金請求システムの必要性がでてきた。

・多くの市民に利用してもらうためには、多くの広告チャンネルを使う必要がある。現在、市の広報紙やホームページへの記事の掲載やパンフレットの配布などを行っているが、住民への浸透はまだまだ出ていない。広報活動により力を入れる必要がある。また、広報活動の一環として市民へ利用講習会を行う必要がある。また、高齢化率の高い本市では高齢者の利用を手助けする仕組みづくりが必要である。

2 自立的・継続的運営の見込み

本年度の協議会委員は主に利用者としての視点で意見を述べてもらった。継続的運営に関する協議についても、運営費などのシミュレーションを行って資料を提示したが、システム構築中の段階での協議でもあり、具体的な検討まで至らなかった。

今回、システムが稼動したので、継続的運営のイメージができるのではないかと考えている。また、平成20年度構築システムが多岐にわたっていることもあり、協議会メンバーの増員を行うので、運営面も含め、協議会での活発な論議が期待される。

3 今後の展開方針

今後は詳細を検討する作業部会、方針について決定する協議会と機能を分けることにより、詳細の検討と決定を効率的に行うと共に、協議会会員を増やすことにより、継続運営について、踏み込んだ検討をしていく。本年度構築したシステムがあることでこれまでイメージし難かった本構想への理解がすすみ、平成20年度の協議はより活性化することが期待される。

また、今年度構築したシステムを用いて市内で講習会や広報活動を行い、会員数の増加を図る。会員数が増加し、システム上での情報交流が活性化することで、本事業の目的である観光客の増加や地域経済の復興等を促し、地域コミュニティの活性化を図る。

上天草市、苓北町と協議を行い、天草としての活動を行っている団体についても本システムを利用できるように進める。

注) 必要な場合には補足説明図（A4判）等を添付すること。

<システム設計書>

1 概要

Web の駅構築システム

- ◆インフォメーション系機能（お知らせ機能・カウンタ-機能・素材管理機能・ホームページ管理機能）
- ◆コミュニケーション系機能（掲示板機能、アンケート機能・FAQ・質問箱機能・メールマガジン機能）
- ◆会員管理（会員管理機能、ログイン認証機能・団体・組織管理機能）
- ◆予約（施設情報管理機能・施設予約管理機能）
- ◆一斉配信（メール配信機能・応答確認機能・空メール登録機能）
- ◆デジタル地図（拡大縮小移動機能・レイヤ-管理機能・ポイントエリア情報）
- ◆その他機能（マッチング機能・検索機能・ネットワークカメラ連携機能）
- ◆管理機能（会員認証、セキュリティ）

観光ガイドシステム

- ◆観光／イベントMAP（観光地情報管理機能、イベント情報管理機能、拡大縮小移動機能、レイヤ-管理機能、ポイント・エリア情報管理機能、観光地／イベント検索機能）
- ◆システム管理者機能（会員認証、管理機能）

商店街活性化システム

- ◆商店街MAP（店舗情報管理機能、拡大縮小移動機能、レイヤ-管理機能、ポイント・エリア情報管理機能、店舗検索機能）
- ◆システム管理者機能（会員認証、管理機能）

①機能性

Web の駅構築システムではインターネットで広く利用されている機能だが自分で作成するには困難な基本機能 Web サービスを利用しやすい形で提供することにより、Web について詳しい知識がないユーザでも利用できるものとしている。また、会員になると個々のホームページを構築することができ、基本機能 Web サービスを利用し独自の情報発信サイトを運営することができる。

観光ガイドシステム、商店街活性化システムでは将来的なネットショップや宿泊施設予約、商店街モールなど機能の基本となる地図情報を平成 19 年度中に整備し、ユーザが視覚的に情報を取得できるようにすることで、複雑な検索などを行わなくても情報を取得できる。

②信頼性

機器は全て RAID 構成にすることで、障害が発生しても復旧が可能としている。また、データベースサーバーはさらにハードごとミラーリングすることにより、片方が壊れた場合でもサービスを持続できるよう構成する。また、アプリケーション、データベース全てをバックアップするサーバーを 1 台用意することにより障害が発生して復元されるまでの間もそのサーバーでサービスを提供することが可能である。

③使用性

基盤システムで提供する複数の基本機能 Web サービスを標準化された相互疎通性を基に連携させ自由に組み合わせることで、根幹には共通した基盤機能を有しているが各分野のオリジナリティを持ち多機能で且つ拡張性の高いサービスシステムを構築できる。これらの基本機能 Web サービスを組みあわせて作る観光ガイドシステム、商店街活性化システムは基本機能 Web サービス個々の使用法を知っていれば全体の使用法もわかるので、ユーザーにとっては使いやすいシステムとなる。

④効率性

Web の駅構築システムは Web サービスで提供される機能を精査し、必要な機能を基本機能 Web サービスとして提供する。応用の利く基本機能をパーツとして活用システムを作成することにより、個別に活用システムを作る場合の重複を排除できる。

⑤保守性

基本機能 Web サービスは標準化された相互疎通性を持って構成されているため、使用開始後の変更の場合も影響調査を全体にする必要はなく、該当する基本機能 Web サービスを修正するだけで変更可能である。

⑥汎用性

システム連携には標準化された相互疎通方法を採用していること、また、データ連携インタフェースを標準化した効率的なシステム連携体系を整備するシステム仕様とすることで、他のシステムとの連携を容易に行うことができる。

これらを組み合わせて作成する活用システムにも同様の効果がある。

2 運用結果

これまで情報発信が出来なかった個人・団体が情報を発信できるようになったことで、これまで地元の間でも知らなかった情報を取得できるようになってきた。今後Webの駅がにぎわうことで解決課題としてあげていた事項に対して有効な手立てとなると思われる。逆に、会員が増えることにより、システムの運用・保守の業務も増えることが予想される。センター設立を早期に行う必要があると考えられる。

3 課題・改修の必要性

基盤システムは完了し一部運用しているが、そのシステムの活用方法などを記したQ&Aや参考となるようなホームページの構築が出来ていないので、現在はテンプレートを利用しただけの、画一的な作りとなってしまっている。また、ホームページは情報の更新が重要だが、会員に更新を促すような仕組みづくりが出来ていない。

今後はシステムの利活用を促すよう、Q&Aの整備、模範的なサイトの表彰、人気ランキングなどの仕組みを考え、サービスを提供する必要がある。

4 その他

※該当する場合に記入

(1) 活用したネットワーク種別・伝送速度

- ① データセンターのインターネット回線
光インターネットサービス回線100Mbps
- ② データセンターと地域活動の拠点となる公共施設の回線
地域イントラネット整備事業により整備する光ケーブル回線
- ③ 各種団体・各種店舗のインターネット回線
ADSL、ケーブルインターネット、光サービスなど

(2) 関連する既存の情報通信システムとの連携状況

本事業の構築時点では業務系システムとの連携を要するサービスシステムは存在しないが、今後の住民向けサービスの展開における新たなサービスシステムを構築する場合に、業務系システムとのデータ連携等の必要性が発生することを想定し、データ連携インタフェースを標準化した効率的なシステム連携体系を整備しておくシステム仕様とする。

(3) 地域情報プラットフォームへの準拠の有無

『Webの駅構築システム』は、多様なシステム間での利活用を可能とすることを基本理念とし、システム間の相互疎通性確保するための要件となる通信手段やシステム体系などを標準化したシステム仕様とし構築することで、『活用システム』におけるスムーズなシステム連携を実現している。

システム間連携方法の標準化により、これまでシステム間のデータ連携に多額のインタフェース構築費用とデータ移行経費が発生していたが、それを削減することが可能となる。また、各システムの開発環境やOSを限定しないため、システム全体を単一のシステム業者に依存するのではなくマルチベンダ化が図られ、新規システム構築や追加の際に開発業者を限定しないことによる競争の理念が適用可能となる。

5 システムの詳細

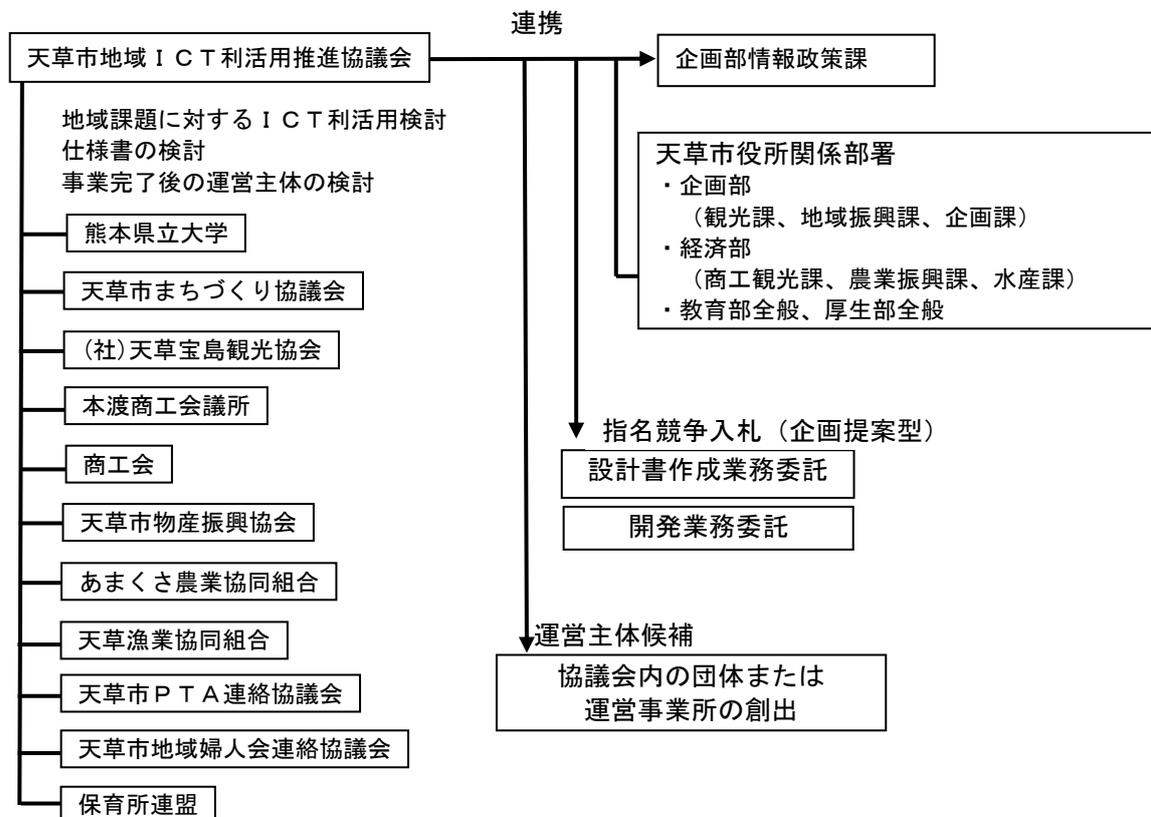
※ネットワークイメージ図、システム構成図（ハード・ソフト）、システム運用図、データ定義書、ソフト要件定義書、データベース設計書等の添付必須（添付のみでも可）

別添資料参照

注) システム関係の添付印刷物は1部のみ提出。必要な場合には補足説明図（A4判）等を添付すること。

<実施体制説明書>

1 実施体制 ※ 図を用いるなど、提案する事業の実施体制を分かりやすく記入。



2 各主体の役割

NO	名 称	役 割
1	熊本県立大学	ウェブアクセシビリティやユニバーサルデザイン、ICT技術及び利活用事例など専門的な立場からの支援や調査の実施。 なお、県立大学とは包括連携協定を結び政策研究や人的交流を行っている。
2	天草市まちづくり協議会	地区振興会 51 団体やふるさと交流会（出身者）の地域課題と ICT の利活用について検討
3	(社) 天草宝島観光協会	交通、宿泊、レジャー施設、食、物産関係に係わる地域課題と ICT 利活用について検討
4	本渡商工会議所	各団体の連携や地域課題と ICT 利活用について検討
5	商工会	各団体の連携や地域課題と ICT 利活用について検討
6	天草市物産振興協会	各団体の連携や地域課題と ICT 利活用について検討

NO	名 称	役 割
7	天草漁業協同組合	各団体の連携や地域課題とICT利活用について検討
8	天草地域婦人会連絡協議会	利用者代表として、地域課題とICT利活用について検討
9	天草市PTA連絡協議会	子育てや利用者側としての地域課題とICT利活用について検討
10	保育所連盟	子育てや利用者側としての地域課題とICT利活用について検討
11	天草市役所 企画部情報政策課	本事業の主務課、関係部署調整、天草市地域ICT利活用推進協議会の庶務
12	天草市役所関連部署	地域課題に対する各種施策（総合計画・実施計画）と本事業の調整及び関係団体との連携

注) 必要な場合には補足説明図（A4判）等を添付すること。

注) 協議会の開催要項・議事要旨を添付。

事業実施進行表

※具体的な実施内容を記入のこと。

実施内容	H19 6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	H20 1月	2月	3月
関係課連携調整 会議	●—————→ 連絡調整会議（随時開催）									
I C T活用協 議会準備委員会	●—————→									
天草市地域 I C T利活用推進協 議会			●	△	△	△	△	△		△
操作研修会									●	△△△
設計コンサル事 業者決定準備	●—————→									
設計コンサル業 務（設計及び開 発監督）				●	—————→ ●			—————→		
					設計業務			開発業務		
システム稼働										●
								完成分より随時運用開始		
機器導入						●	—————→			
広報活動 （P R活動）							●	—————→		
アンケート調査					●	—————→				
報告書作成									●	—————→